

これまでの体験を通して
 西米良村立西米良中学校 二年 濱砂 輝一
 僕の住んでいる村は、村土の九十六パーセ
 ントが山です。その山合いに清流一ツ瀬川が
 流れていきます。僕は毎年夏休みになると、友
 達と一緒に川の淵に飛びこんだり、泳いだり
 して遊んでいます。しかし、近年の台風によ
 り、上流で土砂くずれがおこり、その土砂が
 流れてきて、淵を埋めてしまい、いまでは、
 限られた場所では、楽しめる川がなくなっ

てしまいました。
 また、僕のおじいちゃん、おばあちゃんが
 いる椎葉までの道が近年の台風や大雨の影響
 で、山崩れを起こし、通れなくなりました。
 倍の時間がかかるようになってしまいました。
 今年は六月や七月に日本各地で大雨が降
 り、土砂災害の影響で道が崩れたり、家が土
 砂に埋もれたり、さらには、行方不明の人た
 ちが出たりするなどの様子をニースで見ま

した。このように大雨による土砂災害は、僕たちの生活に大きな影響を及ぼします。

大雨や台風などによる土砂災害など、自然災害を事前に防ぐことは難しいことだと思ひます。だから、大事なことでして、災害が起こる前に安全なところに避難したり、すぐに避難できるようにさまざまな物を準備したいです。することが必要です。

避難するためには、生きていくために必要な飲み物や食べ物、電気がつかなくならな。たときのための懐中電灯、断水したときのための水などがあり、これらは、それぞれの場合で困ったときに使うことができません。

避難するときには、事前にハザードマップなどを作っておくと、被災想定区域や近くの避難場所、避難経路を確認することができ、速やかに避難することができます。

他にも、インターネットで調べると、住んでいる場所が、土砂災害警戒区域かどうか

を確認したり、雨が降り出したときに、土砂災害警戒情報に注意したりすることができるといことが分かりました。

僕の住む村では、消防団が台風が来る前に避難所を開設したり、避難して来た人のお世話をしたりして、村の人たちの安全を守っています。また、土砂崩れにより、道が崩れたときは、地元の建設業の人たちが、応急的な対応をしてくれます。このように、地域のいろいろな人たちの助け合いがあります。さらに、

土砂災害が起きた現場のニュースを見ると、家が土砂で埋もれているときに重機などを使って土砂を掘り出している様子が写ることがあります。土砂災害などが起きても、いろいろな人たちによつて、僕たちの安全な生活が守られていることが分かりました。

僕の住む村の小学校、中学校では、土砂災害の避難訓練があります。避難訓練では、中学校の近くの山で土砂崩れが起きたことを想定して、指定された教室に各学年の教室から

避難し、その後、宮崎県西都土木事務所の方から、土砂災害についての講話をしていただきました。避難するときは、静かに、速やかに、ということを意識して、放送で避難指示がでたときに指定された教室に避難しました。しかりと、静かに、速やかに避難することができました。西都土木事務所の方の話では、土石流、がけ崩れ、地すべりの実際の映像を見て、土石流、がけ崩れ、地すべりそれぞれの特徴などを知らることができました。僕は避難訓練を通して、土石流は大雨がきっかけで、土砂が、雨による水と一緒に一気に流れ出して起こる災害ということ、がけ崩れとは、豪雨や地震などにより地盤が緩み、瞬時に斜面が崩れ落ちること、地すべりは、がけ崩れと違い、緩い斜面で一度に大量の土砂が動くという特徴があることを知ることができました。西都土木事務所の方の話で知った知識と、実際に避難したことを日常生活で生かしていき

たいと思いました。

僕の住む家は、すぐ隣りが避難場所にな
ていますが、近くには、山があるので、避難
訓練で学んだ知識やインターネッ
トで調べた
ことを生かして、土砂災害が起こる前に避難
をして、自分だけでなく家族の命も守って
いきたいです。また、避難訓練で学んだことや、
インターネッ
トで調べたことを、家族に教え
たり、村の人たちとかにも教えたりして、自
分が知ったことや役に立つ知識を知ってもら
いたいです。